

あさポケ次号は4月25日(日)の発行です。

# 「夢をあきらめないで」

## 体操五輪金メダリスト・具志堅氏が中央中で講演



ロサンゼルスオリンピック体操金メダリストの具志堅幸司氏が3月23日、中央中学校(小西保勝校長)1・2年生(498名)を対象に講演を行なった(写真)。

この講演会は、神奈川県教育委員が、「ミニ・フォーラム・キャラバン」として、いじめや暴力行為等の問題行動を未然に防ごうと、県内の公立学校を訪問し行なっているもの。今回は、同委員である具志堅氏が「夢をあきらめないで」をテーマに語った。

具志堅氏は、生徒たちにまず「皆さんの夢は何ですか?」と問いかけ、自分の今の夢は、世界一の選手を育てること。技だけではなく、体操を通して人を導き共に成長できる指導者になりたいと話した。自分が金メダリストになったのは、目標を持って何度も練習しあきらめずに努力したことだと

いい、中学2年の時、大阪の清風高校で体操をやりたいという目標を持ち、苦手だった勉強をがんばり、初めて勉強で物事を知る喜びを知ったこと、「本気になれば何かが変わる」と、生徒たちにエールを送った。さらに、大学時代2度の大けがにみまわれた時も、仲間や恩師の励ましによって体操を続けることができたといい、「苦しい時こそがんばる時、飛躍の時であると感じてほしい」と。生徒たち一人ひとりに語りかけるような、具志堅さんの語り口に生徒たちは皆、熱心に聞き入っていた。最後に、2年生の男子生徒が、「どんなつらい状況でも、夢をあきらめずに努力を続けていきたいと思いました。ありがとうございます」とお礼を述べ、大きな拍手で見送った。

# 総務省から感謝状

相模原署

総務省関東総合通信局は3月25日、不法無線局開設者を電波法違反で検挙した相模原警察署に対し、「情報通信行政に多大な貢献があった」とし、同署大橋署長に感謝状を贈呈した。



総務省関東総合通信局から感謝状を贈呈された大橋署長(写真右)

相模原署は昨年、同局の要請に応え、未割当周波数を使用していた容疑者2人を検挙。容疑者は高出力のトラック無線を不法に使用していたという。

同署生活安全課では、無線を使用する人は一部の小電力のトランシーバーなどを除き、原則として免許または登録が必要だということ。最近では輸出向けの無線や海外製のトランシーバーが、インターネットなどで簡単に手に入るが、国内の電波法に定められた周波数や出力でないものが多いと説明する。「無線局を開設する方は、関東総合通信局に問い合わせください。海外製のトランシーバーなども日本の電波法に適合するかよく調べてください」とのこと。問い合わせは、関東総合通信局☎03(6238)1820へ。

緊急時は110番。相談、照会、情報提供は、相模原警察署☎042(754)0110まで。

# ふれあい伝言板

■絵手紙三人展  
4月13日(火)〜25日(日)9時30分〜

16時、県立相模原公園グリーンハウス・グリーンギャラリーで。日本絵手紙協会公認講師の福田聖子さん、設楽紀美子さん、大角幸子さんの作品展。25日(日)に体験教室あります(参加費100円)。グリーンハウス入館料は一般200円、65歳以上と高校生以下無料。月曜休館。問合せ☎福田☎042(749)9775。

■相模原フットボールクラブジュニアチーム選手募集  
サッカーを始めた新小学1・2年生男女対象。サッカー大好きな少年少女を育て、礼儀やマナーと共に、個人技重視の指導を行います。練習は平日1回、土日1回で1ヵ月8回程度。場所はインドア人工芝グラウンド(上溝6丁目)。入団金6825円、月謝7875円ほか。申込み☎相模原FC☎042(712)5549。

■けんちゃんどん作り  
4月17日(日)9時30分〜正午、横山公民館で。手打ちうどんから作る。自分のことを本当に愛してくれるのならば自分の全部を認めてほしいと思っています。学校では賞を取れなかった作品ですら親が大事にしてくれるという姿を見せれば、自ずと子供の心は素直にまっすぐに成長していきます。他愛もないことのように思えるかもしれませんが、意外とこれは効果があります。なぜなら、逆のことを考えてみればよく分かります。例えば、自分が精魂こめて作った料理を、「こんなのおいしくない!!」と粗末に扱われたら気分を害しますよね。これと同じです。大人でさえそうなので、自分が作った作品を無碍に扱われると、子供なら一層傷つきます。勉強に限らず、自立的、自発的に物事に取り組む子供に育てたいのなら、こんなところにもちょっと気遣ってみてはいかがでしょうか。絵なら壁に貼り、作品なら玄関に飾りつけてあげてください。子供のモチベーションはイヤでも上がりますよ。

# 「賢いママ」に話してもらったための「ママ」親子講座

第3回 子供の作品を大事にする

— 椋木修三 —

学期末になると小中学生は学校にためていたテストや工作などの作品を家に持って帰ります。そのテストの取り扱いについては以前お話ししていますからここでは省きます。今回は子供の工作物や絵画などの作品の取り扱いについてお話ししようと思います。

手前味噌になりますが、私の家では未だ子供たちの当時の作品を残しています。掃除したり引越したりするとそれらの作品ははつきり言って邪魔です。私などは自分が大事にしている本でさえ捨てることがあるのですから、ましてや子供のそんな中高時代の作品なんか「もう捨てていいんじゃないの」と言ったり、家内は決まって「だめっ」と私を叱ります。なぜなら、子供たちが一生懸命描いた絵

や一生懸命作った作品です。そう粗末にできないというわけです。そう言われてしまうと無碍(むげ)に捨てるわけにはいきません。そもそも家では、子供が学校から作品を持って帰ると、しばらくはよく家の壁に貼っていたものです。たとえ学校で賞をもらってはいないとしても、期間限定の即席「家庭展示会」です。当時は単に子供に自信をつけさせることが目的でしたが、今思えば、子供の「自己重要感」を高める役目を果たしていたことになりそうです。

勉強さえしていれば親は自分のことを認めてくれる(つまり、大事にしてくれる)「では、子供の心はゆがんでいき

# みんなのサカサカ広場

— 剣道 —

## 中央剣道愛好会



中心となって指導する久保山弘一郎(6段)さんと小中信幸(5段)さんは、共に中央剣道愛好会で学んだ幼なじみ。「基本をしっかり身につけ、長く楽しく続けてほしいと思います。挨拶や相手の気持ちや思いやることなど、自分たちが教わったことを子供たちに伝えていきたいと思っています」と小中さんは話す。

小1から続ける古賀明日花さん(小6)は、「自分で一日の目標を決めて稽古するようにしています。精神的な面でも学んだことが多く、心が強くなったと思います」と元気に話した。また、小3の娘と一緒に稽古する女性は、「子供の励みになればと去年の5月から始めましたが、今では逆に励まされています。少しずつ向上できればと思っています。普段の生活にもハリが出て充実感を感じられます」と笑顔で話した。

元気な掛け声と竹刀のぶつかり合う音が、体育館に響く。稽古しているのは、小学生から大人までの28名の会員。

■子ども映画会  
4月17日(日)10時〜正午、星が丘公民館で。コボちゃんの交通安全魔法使いサリー、釣りキチ三平を上映。星が丘地区交通安全母の会からプレゼントがあります。当日直接会場へ。問合せ☎星が丘公民館☎042(755)0600。

■春のウォーキング  
4月18日(日)8時50分までに星が丘公民館集合。相模川新磯河川敷・相模の大風センターに芝さくらを見に行きます。お弁当、飲み物、交通費360円(相模線上溝)下

■アウトドアライフのABC  
4月18日(日)9時30分〜15時30分、富士見公園で。親子でアウトドアッキングや竹工作、滑車を使ったロープ遊びをします。対象は小学生とその保護者。申込みは、参加費一人500円を添えて中央公民館窓口へ。問合せ☎中央公民館☎042(758)9000。

# 小学生の作品が絵本に

絵本コンクール入選作品決まる

『絵本の生まれるまちリバティ・タウン』を目指す相模原中央商店街協同組合(横山房男理事長)主催の第5回

近藤咲良さんの作品

小布施歩美さんの作品

『あなからだして』

が丘小・受賞時5年)の作品『あなからだして』が製本され完成。出版記念式典も同時に行われる。

ASAではベルマーク運動を応援しています。読者からお預かりしたベルマークを近隣の学校に届けます。ベルマークを集めたら、ASA相模原中央☎042(755)9494まで、「1報ください!」